

令和7年度 9月定例会会議録

- ◎開催日時 令和7年9月22日（月） 午後3時00分～午後5時00分
◎場 所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員、中村教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 高嶋教育次長、唐澤学校教育課長、矢澤教育環境整備課長、柴生涯学習課長、北澤市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、高嶋指導主事、村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長、北原教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・文化芸術の秋、10月は様々なイベントがある。生涯学習課でもいくつかのイベントを計画している。
- ・運動会、文化祭、周年行事等のご協力をお願いしたい。子どもたちの成果をみていただければありがたい。
- ・交通安全週間となるが、9月議会でも通学路の心配についての質問があった。西春近の唐木の道が狭い、上の原保育園に向かう道の車の速度が速く心配など、具体的な内容である。大きな事故は、年度内ではないが、かつては死亡事故もあった。これを機に取り組んでいきたい。
- ・少子化や小中学校のあり方について、研究していきたいと話をしてきた。学校が小規模化することのマイナス面が取り上げられるが、そればかりではない。小規模校の取り組みを見ていただければわかると思うが、そこには豊かな学びがある。人間関係の固定化、多様な考えを引き出しにくい、社会性・コミュニケーション能力の低下などが、一般論としてデメリットとしてあげられている。デメリットをメリットに変えていく、今の枠組みでできる取り組みもある。
- ・保小中 小小 中中 横連携によるデメリットの解消。ICT 活用による共同授業、ネットワークによる先生方の授業や柔軟な編成。校長会でも話をしているが、具体的には、小学校間の英語の授業合同、オンライン、道徳も研究会、合同行事（長野社会見学2校、事前の係活動、バス代の軽減、新たな友人関係）、中学校同士の合同授業、数学、出向いて対面での教え合いなど。今できることで、デメリットをメリットに変えるよう取り組んでいる。

3 委員のひと言 黒河内委員

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・8月25日は、上伊那諏訪地区地域連携共同フォーラム。子どもたちに関わる皆さんの会で、取り組みについての情報共有。次に生かせると感じている。
- ・8月30日は、総合防災訓練。朝から暑い日で、美篤小に本部が設定された。土嚢作り、 TENT 張りの競争等、ゲーム形式で実施。寒くても暑くても対応が必要と感じる。
- ・9月3日は、教育財政懇談会で、県議会議員も出席。意見交換を行った。
- ・9月4日は、学習ノートの寄贈があった。アドコマーシャルさんからの寄附で本年度4年目となる。すべての児童に配布。
- ・9月6日は、絵島の法要。三宅島の関係者が来訪し、しめやかに実施された。

- ・ 9月7日は、伊那節大会。市外からも来訪者多数あった。
- ・ 9月10日は、議会一般質問。熱中症対策、不登校、安全対策ほか、多数の質問があった。
- ・ 9月13日は、歴史博物館の秋季企画展。戦後80年が経ち、次に戦争を語れる方が減。教育委員会としての課題と考える。

第2 議案

議案第1号 伊那市立中学校部活動の地域移行協議会設置要綱の一部改正について

- ・ 学校教育課長から資料に基づき説明
- ・ 教育委員から「地域移行から地域展開に文言が変わった背景は。」旨の質問があり、学校教育課長から「当初は地域移行という文言であったが、進めていく中で、学校の部活動が地域によって行われるとの印象を持たれるようになった。趣旨は、学校の管理下ではなく、地域の中で実施されるということであるので、国が文言を変更した。」旨の回答があった。

全会一致 承認

議案第2号 伊那市地域クラブ活動指導者登録要綱の制定について

- ・ 学校教育課長から資料に基づき説明
- ・ 教育委員から「日本版DBSが成立し施行となる。学校や保育園は対象となるが、こうしたクラブでも取り組みが必要となるのではないかな。検討した経緯は。」旨の質問があり、学校教育課長から「後ほどの議題にあるが、指導者または認定地域クラブの要項の中で、全体的には、指導者の資質、クラブ全体の活動の内容が中学生にふさわしいもの、中学生にふさわしい指導をしているかという内容が含まれている。後ほどの要項の中で、ご指摘の内容について必要があれば追加をしていきたい。」旨の回答があった。
- ・ 教育委員から「多くの認定が必要となり、費用についてもかなりの予算が必要と思う。その辺りもよく検討をいただきたい。」旨の意見があった。
- ・ 教育委員から「登録申込者に何かあった場合、適切な人物かどうかの確認ができる仕組みが必要ではないか。必要に応じて、調べられるようにしておいた方が良いと思う。」旨の意見があり、学校教育課長から「調査をする法的根拠は示されていないが、登録申込書に個人情報の取得の同意を得られるようになっている。また、調査とまではいかないが、申請に虚偽がないということに対して、同意をいただけるようになっており、判断をしていきたい。」旨の回答があった。
- ・ 教育委員から「想定している第6条、不適切な場合の登録抹消とあるが、それを確認するための作業ができるのか、外部情報からの判断なのかがあいまいになっている。調査権限があるということを明らかにしておいた方が、何かあった場合に動けると思う。」旨の意見があった。

保留（次回、指摘の内容を調整のうえ、再審議）

第3 協議事項

(1) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・ 学校教育課長から資料に基づき説明
- ・ 昨年度から、評価に変更があったものについて、担当課長から説明
- ・ 教育委員から「高遠美術館来場者人数を増やすため、NHKを利用したの宣伝をしたらどうか。」

旨の意見があり、

生涯学習課長から「情報発信していきたい。参考にしたい。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「N09 給食施設整備について、話を聞かぎり、価格高騰等でやむを得ない事情と思うが、評価を下げるのか。評価を下げる必要はないのではないか。」旨の質問があり、教育環境整備課長から「担当の思いもありこの評価としたが、意見をいただき、再検討したい。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「美術館、学芸員の対応が素晴らしい。評価はCであるが、内容は良かった。」旨の意見があり、生涯学習課長から、「学芸員も励みになると思う。」旨の回答があった。

第4 報告事項

(1) 中学校部活動の地域展開について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明

- ・教育委員から「補助対象経費の保険加入について、指導上発生した事故や損害について、教育委員会は責めを負わないとあるが、何かあった場合に保険対象となるものは。保険の種類は何か。」旨の質問があり

学校教育課長から「指導者が加入するのは傷害保険。伊那市としての補助金は、保険料を補助するものではなく、クラブ運営費を補助するものであるので、運営費の使い方の中での対応で、保険料に充てることもできると思う。」旨の回答があった。

(2) 「中学生の自習室2025夏」の実績報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明

- ・指導主事から「西箕輪公民館は参加人数が少なく、伊那公民館は多い。伊那公民館がパニック状態でスタッフが大変である。伊那中学区の西寄りに住んでいる生徒は、西箕輪公民館へ行くのはどうか。また、時期的に、指導主事は研修の対応が多く、また、3月の実施時期も同様に対応が厳しい時期であることをご承知いただきたい。」旨の意見があった。

- ・教育委員から「可能であれば、小学校のおいで塾も昼食の提供を考えてもらえないか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「おいで塾は90人前後の参加があり、対応は難しいが、検討してみたい。」旨の回答があった。

(3) 第39回伊澤修二記念音楽祭について

- ・生涯学習課長から、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(4) まほら伊那市民大学の事業報告について

- ・生涯学習課長から、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(5) 長谷地区生涯学習講演会について

- ・生涯学習課長から、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(6) 夏期休業特別学童クラブ実施報告について

- ・こども政策課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(7) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(8) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(9) 来月以降の文化施設の行事日程について

(質問・意見なし)

(10) 共催・後援について

(質問・意見なし)

5 その他

(1) 次回の定例会について

(2) 11月以降の主な行事予定について

6 閉 会